

Creator Classic について

Creator Classic を使用すると、重要なファイルを CD、DVD、Blu-ray ディスクに、または大容量のデータを複数のディスクにアーカイブできます。起動可能ディスクの作成やディスクのバックアップも可能です。

Creator Classic では、とても簡単にディスクを書き込みます。

1 Creator Classic プロジェクトを開始します。 Creator Classic では、以下の種類のプロジェクトを作成できます。

- データ ディスク
- 起動可能ディスク

プロジェクト領域から作成するプロジェクトの種類を選択します。

プロジェクトの各種類については、[作成するプロジェクトの種類を決定する](#)を参照してください。

2 ファイル、フォルダー、およびトラックをプロジェクトに追加します。 ハードディスクや他のディスクからプロジェクトにファイルやフォルダーを追加します。

3 ディスクに書き込みます。 書き込むファイルをプロジェクトに追加し、それらを整理したら、次にそのプロジェクトをディスクに書き込みます。

以下も参照してください：

- [新しいプロジェクトを開始](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

Creator Classic

Creator Classic ウィンドウについて

Creator Classic を起動すると、デフォルトのウィンドウとして無題のデータ ディスク プロジェクトが表示されます。すべての種類のプロジェクトに共通なウィンドウの要素は、以下のとおりです。



以下も参照してください:

- [新しいプロジェクトを開始](#)
- [作成するプロジェクトの種類を決定する](#)
- [プロジェクトを開く、保存する](#)

[ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

使用できるディスクの種類

使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに接続されているレコーダーの種類によって異なります。お使いのレコーダーのマニュアルを参照して、そのレコーダーに適したメディアを使用してください。

Creator Classic で使用できるディスクの種類は、以下のとおりです。

メディアの種類	元の容量	互換ドライブ
書き込み可能 CD (CD-R)	185MB、210MB、650MB、または700MB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどすべてのドライブで読み取れます。 ● ほとんどすべてのレコーダーで書き込めます。
書き込み可能 DVD-R フォーマット (DVD-R)	4.7GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD、DVD-ROM、DVD-R、または DVD-RW ドライブで読み取れます。 ● BD-R、DVD-R または DVD-RW レコーダーで書き込めます。
書き込み可能 DVD +R フォーマット (DVD+R)	4.7GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD、DVD-ROM、DVD+R、または DVD+RW ドライブで読み取れます。 ● BD-R、DVD+R または DVD+RW レコーダーで書き込めます。
書き込み可能 DVD-R 2層 フォーマット (DVD-R DL)	8.5GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD、DVD-ROM および DVD-R レコーダーで読み取れます。 ● BD-R、DVD-R DL レコーダーで書き込めます。
書き込み可能 DVD+R 2層 フォーマット (DVD+R DL)	8.5GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD、DVD-ROM、DVD+R、または DVD+RW ドライブで読み取れます。 ● BD-R、DVD+R DL レコーダーで書き込めます。
書き換え可能 CD (CD-RW)	185MB、210MB、650MB、または700MB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD、CD-ROM、DVD-ROM、または CD-RW ドライブで読み取れます。 ● ほとんどの CD-RW ドライブで書き込みおよび書き換えができます。
書き換え可能 DVD -RW フォーマット (DVD-RW)	4.7GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD、DVD-ROM または DVD-RW ドライブで読み取れます。 ● ほとんどの BD-R、DVD-RW レコーダーで書き込みおよび書き換えができます。
書き換え可能 DVD +RW フォーマット (DVD+RW)	4.7GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD、DVD-ROM または DVD+RW ドライブで読み取れます。 ● ほとんどの BD-R、DVD+RW レコーダーで書き込みおよび書き換えができます。
書き込み可能 BD-R単層	25GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD ドライブで読み取り可能 ● ほとんどの BD レコーダーで書き込み可能
書き込み可能 BD-R2層	50GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD ドライブで読み取り可能 ● ほとんどの BD レコーダーで書き込み可能
書き換え可能 BD-RE単層	25GB	<ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの BD ドライブで読み取り可能

層		<ul style="list-style-type: none">● ほとんどの BD レコーダーで書き込みおよび書き換えができます。
書き換え可能 BD-RE2 層	50GB	<ul style="list-style-type: none">● ほとんどの BD ドライブで読み取り可能● ほとんどの BD レコーダーで書き込みおよび書き換えができます。

以下も参照してください:

- [作成するプロジェクトの種類を決定する](#)
- [新しいプロジェクトを開始](#)
- [プロジェクトを開く、保存する](#)

[▲ ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Creator Classic プロジェクトの基本

この手順には、Creator Classic に関する基本情報が記載されています。

- [作成するプロジェクトの種類を決定する](#)
- [新しいプロジェクトを開始](#)
- [プロジェクトを開く、保存する](#)
- [ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する](#)
- [プロジェクト内のファイルとフォルダーを操作する](#)
- [プロジェクトのラベルを作成する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。



作成するプロジェクトの種類を決定する

この節には、Creator Classic を使用して作成できるプロジェクトの種類が一覧されています。これらの情報は、どの種類のプロジェクトが自分のニーズに最も良く合っているかを判断する際に役立ちます。

- データ ディスク

データ ディスクとは、任意のコンピューター データを含むディスクです。Creator Classic を使用すれば、ハード ディスクやその他のディスクに保存されているファイルやフォルダーをディスクに書き込んで、独自のデータ ディスクを作成できます。

ディスクに任意の種類 of データ ファイルを含める場合は、この種類のプロジェクトを選択します。

- 起動可能ディスク

起動可能ディスクとは起動可能イメージを含む CD または DVD のことで、起動フロッピー ディスクや起動可能ハード ディスクと同じようなものです。Creator Classic を使用すると、コンピューターを起動するための起動可能ディスクを作成できます。

起動可能ディスクは、ハード ディスク上のオペレーティング システムを使用しないでコンピューターを起動したい場合に便利です。また、バックアップ、ドライブ ユーティリティ、またはウイルス スキャン ソフトウェアを実行する場合にも役に立ちます。

以下も参照してください：

- [新しいプロジェクトを開始](#)
- [データ ディスクを操作する](#)
- [起動可能ディスクを作成する](#)
- [その他の機能を使用する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

新しいプロジェクトを開始

新しいプロジェクトを開始するには:

- 1 プロジェクト領域で、作成するプロジェクトの種類を選択します。または、**ファイル > 新規プロジェクト** をクリックします。作成できるプロジェクトの種類については、[作成するプロジェクトの種類を決定する](#)を参照してください。
プロジェクト領域に、無題のプロジェクトが表示されます。
- 2 ファイルをプロジェクトに追加します。詳細については、[ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する](#)を参照してください。

以下も参照してください:

- [作成するプロジェクトの種類を決定する](#)
- [プロジェクトを開く、保存する](#)
- [ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する](#)
- [プロジェクト内のファイルとフォルダーを操作する](#)

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。



プロジェクトを開く、保存する

この節では、既存の Creator Classic プロジェクトを開く方法、およびプロジェクトを保存する方法について説明します。

プロジェクトを開くには:

- 1 **ファイル** > **プロジェクトを開く** を選択します。
- 2 開くプロジェクトを選択します。
- 3 **開く** をクリックします。

プロジェクトを保存するには、次の手順に従ってください。

- **ファイル** > **プロジェクトを保存** を選択します。

既存のプロジェクトを別の名前でも保存するには:

- 1 **ファイル** > **プロジェクトに名前を付けて保存** を選択します。
- 2 新しいファイル名を入力し、保存する場所を選択します。
- 3 **保存** をクリックします。

以下も参照してください:

- [新しいプロジェクトを開始](#)
- [作成するプロジェクトの種類を決定する](#)
- [ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する](#)
- [プロジェクト内のファイルとフォルダーを操作する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。



ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する

ハード ディスクやその他のディスクでファイルやフォルダーを参照し、それらをプロジェクトに追加できます。

ファイルやフォルダーを参照してプロジェクトに追加するには:

- 1 ソースを選択領域で、ファイルやフォルダーは以下のいずれかの方法で参照できます。
 - スマートビューとアルバムを参照します。スマートビューは、メディアの種類や日付などの一般的な特性に基づいて Media Manager によって自動的に作成され、管理されるメディア ファイルのグループのことです。アルバムとは、ユーザーが独自に作成、管理するメディア ファイルのグループのことです。

スマートビューとアルバムの詳細については、*Media Manager ヘルプ センター*を参照してください。
 - コンピューター上の Windows フォルダー内にあるファイルとフォルダーを参照します。
 - ディスク アイコンをプロジェクト ウィンドウにドラッグしてディスクのコンテンツ全体を追加します。
 - **マイ デバイス**をクリックして、携帯電話およびコンピューターで検出された他の互換性のあるデバイス上のファイルを参照します。

他のデバイスにあるファイルの参照の詳細については、*Media Manager ヘルプ センター*を参照してください。
- 2 一度に複数のファイルを選択するには、**Ctrl** キーを押したまま各ファイルをクリックします。
- 3 以下のいずれかの方法で、選択したファイルやフォルダーをプロジェクトに追加します。
 - **追加**をクリックします。
 - ファイルやフォルダーをコピー元領域からプロジェクト領域にドラッグします。
 - ファイルやフォルダー、またはディスク アイコンを Windows エクスプローラーからプロジェクト領域にドラッグします。
 - 追加するファイルやフォルダーをソース領域または Windows エクスプローラーからコピーし、プロジェクト領域内に貼り付けます。

注意: 1 枚のディスクに収まらない大容量のプロジェクトは、複数のディスクに分割して書き込めます。詳細については、[マルチディスク データ プロジェクトを書き込む](#) を参照してください。

- 4 プロジェクト領域の下部にあるステータス バーに、現在のプロジェクトの推定サイズが表示されます。

以下も参照してください:

- [プロジェクト内のファイルとフォルダーを操作する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

プロジェクト内のファイルとフォルダーを操作する

ファイルをプロジェクトに追加した後は、以下の操作を行えます。

- [新規フォルダーを作成する](#)
- [ファイルやフォルダーを削除する](#)
- [ファイルやフォルダーの名前を変更する](#)
- [ファイルを検索する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合があります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。



Creator Classic

新規フォルダーを作成する

プロジェクト内に新規フォルダーを作成し、そこにファイルやサブフォルダーを追加できます。

新規フォルダーを作成するには：

- プロジェクト領域内を右クリックし、**新しいフォルダー**をクリックします。または、プロジェクト領域内をクリックし、**編集** > **新しいフォルダー** をクリックします。

以下も参照してください：

- [ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する](#)
- [ファイルやフォルダーを削除する](#)
- [ファイルやフォルダーの名前を変更する](#)
- [ファイルを検索する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

ファイルやフォルダーを削除する

プロジェクトからファイルやフォルダーを削除できます。プロジェクトからファイルやフォルダーを削除しても、ハード ディスク内にあるオリジナルのファイルやフォルダーが削除されることはありません。

ファイルまたはフォルダーを削除するには：

- プロジェクト内のファイルまたはフォルダーを選択し、**削除**をクリックします。または、プロジェクト内のファイルまたはフォルダーを右クリックし、**プロジェクトから削除**をクリックします。



以下も参照してください：

- [プロジェクト内のファイルとフォルダーを操作する](#)
- [ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する](#)
- [新規フォルダーを作成する](#)
- [ファイルやフォルダーの名前を変更する](#)
- [ファイルを検索する](#)

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ファイルやフォルダーの名前を変更する

プロジェクト内のファイルやフォルダーの名前は変更できます。プロジェクト内で名前を変更しても、ハードディスク内にあるオリジナルのファイルやフォルダーの名前が変更されることはありません。

ファイルまたはフォルダーの名前を変更するには:

- プロジェクト内のファイルまたはフォルダーを右クリックし、**名前を変更**をクリックします。または、プロジェクト内のファイルまたはフォルダーを選択し、**編集** > **名前を変更**をクリックします。

以下も参照してください:

- [プロジェクト内のファイルとフォルダーを操作する](#)
- [ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する](#)
- [ファイルやフォルダーを削除する](#)
- [新規フォルダーを作成する](#)
- [ファイルを検索する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。



ファイルを検索する

プロジェクトに現在含まれているファイルを検索できます。

プロジェクト内のファイルを検索するには：

- 1 プロジェクト内のフォルダーまたはディスク ボリュームを右クリックし、**プロジェクト内で検索**をクリックします。
ファイルを検索ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 **名前**フィールドに、検索するファイルの名前を入力します。ワイルド カード文字も使用できます。
- 3 **検索**をクリックします。

以下も参照してください：

- [プロジェクト内のファイルとフォルダーを操作する](#)
- [ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加する](#)
- [ファイルやフォルダーを削除する](#)
- [ファイルやフォルダーの名前を変更する](#)
- [新規フォルダーを作成する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

Creator Classic

プロジェクトのラベルを作成する

プロによってデザインされたテンプレートがある Express Labeler を使用すると、画面の指示に従って操作するだけで簡単にプロフェッショナルなディスク ラベルやケース ジャケットを作成できます。

次のいずれかの方法で Creator Classic から Express Labeler を起動します。

- その他のタスク領域で、**ディスク ラベルを作成**を選択します。
- Creator Classic メニューから、**ツール > ディスク ラベルを作成**をクリックします。
- ディスクの書き込み中に、**ラベルを作成**を選択します。

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Creator Classic

データ ディスクの操作について

データ ディスクとは、任意のコンピューター データを含む CD または DVD です。Creator Classic を使用すれば、ハード ディスクやその他のディスクに保存されているファイルやフォルダーをディスクに書き込んで、独自のデータ ディスクを作成できます。

ディスクに任意のデータ ファイルを含める場合は、この種類のプロジェクトを選択します。

データ ディスクに固有の操作については、以下の項目を参照してください。

- [マルチディスク データ プロジェクトを書き込む](#)
- [スパン オプションを選択する](#)
- [圧縮オプションを選択する](#)
- [ディスクを暗号化する](#)
- [追記可能なディスクにデータを追加する](#)

ファイルの追加、フォルダーの操作、ディスクの書き込みなど、Creator Classic プロジェクトでの基本的な操作については、[Creator Classic プロジェクトの基本](#)を参照してください。

以下も参照してください：

- [作成するプロジェクトの種類を決定する](#)
- [マルチディスク データ プロジェクトを書き込む](#)
- [Creator Classic プロジェクトの基本](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Creator Classic

マルチディスク データ プロジェクトを書き込む

1 枚のディスクに収まらない大容量のプロジェクトは、複数枚のディスクに分割して書き込みます。1 枚のディスク(ブランクの CD または DVD)に収まらない量のファイルやフォルダーをプロジェクトに追加すると、プロジェクト領域の下部にあるステータス バーにプロジェクトの推定サイズとこのプロジェクトを収録するのに必要なディスクの枚数が表示されます。別の種類のディスクを使った場合の推定値を表示するには、ステータス バーのディスク サイズ リストをクリックします。詳細については、[Creator Classic ウィンドウについて](#) を参照してください。

この種類のプロジェクトは、通常のデータ ディスク プロジェクトと同じように書き込みます。1 枚のディスクがいっぱいになると、別のブランク ディスクを挿入するよう指示するメッセージが表示されます。このメッセージは、プロジェクト全体が書き込まれるまで、ディスクがいっぱいになるたびに表示されます。

注意: 複数枚にわたるプロジェクトを書き込む場合、すでにデータが書き込まれたディスクは使用できません。また、同じサイズと容量のディスクを使用する必要があります。

複数のディスクに分割して書き込まれたファイルやフォルダーを復元し、それらをハード ディスクにコピーする場合は、Roxio Retrieve アプリケーションを使用します。

マルチディスク データ プロジェクトからファイルを復元する

ディスクに書き込んだマルチディスク データ プロジェクトは、Roxio Retrieve アプリケーションを使ってハード ディスクに復元できます。

警告: Creator Classic を使用して複数のディスクに分割して書き込んだ大容量のプロジェクトでは、1 つのファイルが分割されて複数のディスクに書き込まれている場合があります。これを分割ファイルと呼びます。分割ファイルを復元するには、Roxio Retrieve を使用します。Roxio Retrieve を使用しないでハード ディスクにそのままコピーしたファイルは使用できません。

マルチディスク データ ディスクから Roxio Retrieve を起動するには:

- 複数枚に分割して書き込んだディスクのうちの 1 つをドライブに挿入します。ディスクが十分に回転するまで待ちます。

Roxio Retrieve ウィンドウが表示されます。

注意: 自動実行機能が無効になっていて、Roxio Retrieve ウィンドウが表示されない場合は、ディスク内の **Launch_Retrieve.exe** ファイルをダブルクリックして手動で Roxio Retrieve を起動します。

ファイルやフォルダーの復元方法については、Roxio Retrieve のオンライン ヘルプを参照してください。

以下も参照してください:

- [データ ディスクの操作について](#)
- [スパン オプションを選択する](#)
- [圧縮オプションを選択する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

スパン オプションを選択する

Creator Classic のデータ ディスク プロジェクトでは、ディスクのスパンを無効にできます。無効にすると、1 枚のディスクに収まるサイズのファイルは複数枚のディスクに分割されなくなります。このオプションを選択すると、1 枚のディスクに収まらない大きなサイズのファイルがプロジェクトに含まれている場合、プロジェクトを書き込むためにそのファイルが複数枚のディスクに分割されます。

スパンを無効にするには：

- 1 **プロジェクト設定**をクリックします。または、**ファイル > プロジェクト設定**を選択し、**全般**をクリックします。
プロジェクトのプロパティ ダイアログ ボックスの全般ページが表示されます。
- 2 **マルチディスク プロジェクト内のファイルを分割しない**チェックボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

以下も参照してください：

- [データ ディスクの操作について](#)
- [マルチディスク データ プロジェクトを書き込む](#)
- [圧縮オプションを選択する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

圧縮オプションを選択する

データ ディスク プロジェクトでは、ディスク内の個々のファイルを圧縮するように指定できます。

注意: プロジェクト領域の下部にあるステータス バーには、プロジェクトの推定サイズとこのプロジェクトを収録するのに必要なディスクの枚数が表示されますが、「圧縮」を選択した場合は各ファイルの圧縮率が異なるため、これらの情報が正確でない場合があります。つまり、プロジェクトに必要な実際のディスク枚数が、表示枚数より少なくて済むことがあります。

ファイルを圧縮するには:

- 1 **プロジェクト設定**をクリックします。または、**ファイル > プロジェクト設定**を選択し、**全般**をクリックします。
プロジェクトのプロパティ ダイアログ ボックスの全般ページが表示されます。
- 2 **圧縮を有効にする**チェックボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

以下も参照してください:

- [データ ディスクの操作について](#)
- [マルチディスク データ プロジェクトを書き込む](#)
- [スパン オプションを選択する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Creator Classic

ディスクを暗号化する

データ ディスク プロジェクトでは、ディスク内のファイルを暗号化できます。暗号化したファイルは、指定したパスワードを入力した人だけがアクセスできるようになります。暗号化したディスクまたはファイルを復号するには、Roxio Retrieve アプリケーションを使用する必要があります。

ディスクまたはファイルを暗号化するには：

- 1 暗号化をクリックします。



暗号化ダイアログ ボックスが表示されます。

- 2 ファイルの暗号化を有効にする(128 ビット)チェックボックスをオンにします。
- 3 パスワード ボックスに、6 文字以上のパスワードを入力します。
- 4 パスワードの確認ボックスに、もう一度パスワードを入力します。

警告： このパスワードは忘れないように注意してください。パスワードを忘れると、ディスクからデータを復元できなくなります。Roxio では、パスワードを忘れた場合の暗号化ディスクからのデータ復元はサポートしていません。

- 5 ディスク内のファイル名も暗号化するかどうかを指定できます。
 - ディスク内のファイル名とデータを暗号化する(ファイル名とデータの両方を認識できないようにする)には、**ディスクに含まれているファイルの名前を表示しない**チェックボックスをオンにします。
 - ディスク内のデータだけを暗号化し、ファイル名は認識できるようにするには、**ディスクに含まれているファイルの名前を表示しない**チェックボックスをオフにします。
- 6 OK をクリックします。

暗号化されたディスクやファイルを復号化する

Creator Classic を使用して暗号化したディスクを復号化してハード ディスクに保存するには、Roxio Retrieve アプリケーションを使用します。

Roxio Retrieve を起動するには：

注意： 暗号化ディスクからデータを復元する場合は、ディスクまたはファイルを復号化する際にパスワードを入力するよう求められます。

- 暗号化されたディスクをドライブに挿入し、ディスクが十分に回転するまで待ちます。
Roxio Retrieve ウィンドウが表示されます。

注意： 自動実行機能が無効になっていて、Roxio Retrieve ウィンドウが表示されない場合は、ディスク内の **Launch_Retrieve.exe** ファイルをダブルクリックして手動で Roxio Retrieve を起動します。

暗号化されたディスクの復元方法については、Roxio Retrieve のオンライン ヘルプを参照してください。

以下も参照してください：

- [マルチディスク データ プロジェクトを書き込む](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

追記可能なディスクにデータを追加する

Creator Classic で作成したデータ ディスクをクローズしていない場合、または読み取り専用ディスクとして書き込んでいない場合は、そのディスクにさらにデータを追加できます。

ディスクにデータを追加するには:

- 1 プロジェクト領域の**データ ディスク** をクリックして、新しいデータ ディスク プロジェクトを開始します。
- 2 データを追加するディスクをレコーダーに挿入します。
- 3 **追記可能なディスクからデータをインポート** をクリックします。

追記可能なディスクからデータをインポート



ディスクからデータがインポートされ、プロジェクト領域に追加されます。

- 4 通常どおりに、データ ディスクの作成操作を続けます。つまり、ファイルやフォルダーをプロジェクトに追加してから、ディスクに書き込みます。

以下も参照してください:

- [データ ディスクの操作について](#)
- [マルチディスク データ プロジェクトからファイルを復元する](#)
- [マルチディスク データ プロジェクトを書き込む](#)

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

起動可能ディスクの作成について

起動可能ディスクとは起動可能イメージを含む CD または DVD のことで、起動フロッピー ディスクや起動可能ハード ディスクと同じようなものです。Creator Classic を使用すると、コンピューターを起動するための起動可能ディスクを作成できます。

起動可能ディスクは、ハード ディスク上のオペレーティング システムを使用しないでコンピューターを起動したい場合に便利です。また、バックアップ、ドライブ ユーティリティ、またはウイルス スキャン ソフトウェアを実行する場合にも役に立ちます。

注意: 起動可能ディスクの作成は、コンピューターの知識と経験が豊富なユーザー向けに提供されている機能です。起動可能フロッピー ディスクやハード ディスク イメージの作成方法、および DOS の config.sys や autoexec.bat ファイルの作成方法や編集方法などについての知識が必要です。

起動可能ディスクの作成方法については、以下の各トピックを参照してください。

- [作業の準備](#)
- [Creator Classic を使って起動可能ディスクを作成する](#)
- [フロッピー ディスク エミュレーションを使用するためのヒント](#)

以下も参照してください:

- [作成するプロジェクトの種類を決定する](#)
- [作業の準備](#)
- [Creator Classic を使って起動可能ディスクを作成する](#)
- [フロッピー ディスク エミュレーションを使用するためのヒント](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

Creator Classic

作業の準備

このセクションでは、起動フロッピー ディスク イメージから起動可能ディスクを作成する方法について説明します。これは、フロッピー ディスク エミュレーションと呼ばれます。

ハード ディスク イメージから起動可能ディスクを作成する場合は(ハード ディスク エミュレーション)、ハードドライブの起動に必要なファイルについて理解しておく必要があります。詳細については、[フロッピー ディスク エミュレーションを使用するためのヒント](#) を参照してください。

起動可能ディスクを作成する前に、以下の作業を行います。

- [システムが起動可能ディスクをサポートしていることを確認する](#)
- [起動フロッピー ディスクを見つける、または作成する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

システムが起動可能ディスクをサポートしていることを確認する

起動可能ディスクからシステムを起動するには、システム自体が起動可能ディスク機能をサポートしている必要があります。システムの BIOS 設定をチェックし、起動可能 CD-ROM サポート オプションの有無を確認します。システムの BIOS 設定にアクセスする方法については、お使いのシステムのマニュアルを参照してください。このサポート オプションがある場合は、それを有効にします。Pentium 以上のプロセッサを使用しているシステムのほとんどは、この機能をサポートしています。

以下も参照してください:

- [起動可能ディスクの作成について](#)
- [起動フロッピー ディスクを見つける、または作成する](#)
- [Creator Classic を使って起動可能ディスクを作成する](#)
- [フロッピー ディスク エミュレーションを使用するためのヒント](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

起動フロッピー ディスクを見つける、または作成する

お使いのシステムによっては、起動フロッピー ディスクが付属していることがあります。付属していない場合は、Windows システムの一部のバージョンでサポートされている機能を使って起動フロッピー ディスクを作成します。

注意: Windows オペレーティング システムで起動フロッピー ディスクを作成する方法については、Windows のユーザーズ ガイドを参照してください。

以下も参照してください:

- [起動可能ディスクの作成について](#)
- [システムが起動可能ディスクをサポートしていることを確認する](#)
- [Creator Classic を使って起動可能ディスクを作成する](#)
- [フロッピー ディスク エミュレーションを使用するためのヒント](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Creator Classic を使って起動可能ディスクを作成する

起動ディスクを作成するには、次の手順に従ってください。

- 1 プロジェクト領域で、**起動可能ディスク**をクリックします。
起動可能ディスクの種類を選択ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 **起動可能ディスクの種類**ドロップダウン リストから、以下のいずれかを選択します。
 - **フロッピーディスク エミュレーション(1.44 MB)**: 1.44 MB の起動フロッピー ディスクをそのまま反映した起動可能ディスクを作成できます。ディスク内に 1.44 MB のパーティションが作成され、そこに起動フロッピーディスクのイメージがコピーされます。このオプションを選択した場合は、起動可能イメージのサイズが 1.44 MB までに制限されます。
 - **フロッピーディスク エミュレーション(2.88 MB)**: 2.88 MB の起動フロッピー ディスクをそのまま反映した起動可能ディスクを作成できます。ディスク内に 2.88 MB のパーティションが作成され、そこに起動フロッピーディスクのイメージがコピーされます。このオプションを選択した場合は、起動可能イメージのサイズが 2.88 MB までに制限されます。
 - **ハードディスク エミュレーション**: ハード ディスクをエミュレートする起動可能ディスクを作成できます。このオプションを選択した場合は、起動フロッピー ディスク オプションを使用する場合より大きなサイズの起動可能イメージをディスク内に作成できます。起動可能イメージのサイズは、ディスクの容量に制限されます。
 - **エミュレーションなし**: フロッピー ディスクまたはハード ディスクをエミュレートするディスクを使用しない場合は、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合は、イメージが注意りにロードされて実行されます。
- 3 **エミュレーション オプション**では、[手順 2](#) で選択した起動可能ディスクの種類に適切なエミュレーションを選択します。
 - **フロッピー ディスクからイメージを作成する**: このオプションを選択すると、起動フロッピー ディスクから起動可能ディスクを作成できます。このオプションを使用するには、起動フロッピーディスクが必要です。
 - **既存のイメージ ファイルを使用する**: このオプションを選択すると、既存のイメージ ファイルから起動可能ディスクを作成できます。このオプションを使用するには、ハード ディスク上に起動可能イメージ ファイルが必要です。イメージには、起動フロッピー ディスク イメージ(1.44 または 2.88 MB)を使用できます。起動可能ディスクの種類としてハードディスク エミュレーションまたはエミュレーションなしを選択した場合は、それより大きなイメージを使用できます。起動可能イメージ ファイルを検索するには、[参照](#)をクリックします。
- 4 **オプション**: [詳細](#)をクリックすると、その他の情報を示す詳細オプションと、イメージ ファイルおよび起動セクターに関するオプションが表示されます。
- 5 **起動可能イメージ ファイル生成のカスタム設定**:
 - **イメージ ファイルのパス**: [参照](#)をクリックして、起動可能イメージ ファイルの場所を選択します。
 - **起動可能イメージ ファイルを保持する**: 起動可能イメージ ファイルを後で使用できるように保存する場合は、このオプションを選択します。
このオプションを使用できるのは、起動可能ディスクの種類としてフロッピー ディスク エミュレーションを選択した場合だけです。
- 6 **起動セクター/セグメント設定**:
 - **ロードするセグメント**: マスター起動レコードがロードされる注意り内のアドレスを 16 進数で指定します。標準の起動可能ディスクを作成する場合は、この値を変更しないでください。
 - **セクター カウント**: 初期起動プロセス中に、システムによって取り込むセグメントに保存される仮想/エミュレート セクターの数を指定します。標準の起動可能ディスクを作成する場合は、この値を変更しないでください。
- 7 **OK** をクリックします。画面の指示に従って操作します。
- 8 起動可能ディスク プロジェクトが表示されたら、Creator Classic を使用して通常どおりにデータディスクを作成します。ファイルの追加、フォルダーの操作、ディスクの書き込みなど、プロジェクトでの基本的な操作については、[Creator Classic プロジェクトの基本](#)を参照してください。

注意: 起動可能ディスクが作成されたら、そのディスクを使用してシステムが起動するかどうかを調べます。システムで起動可能ディスクがサポートされていることを確認してから、作成した起動可能ディスクを CD または DVD ドライブに挿入し、システムの電源を入れます。システムが正しく起動した場合は、起動可能ディスクが正しく作成されています。

以下も参照してください:

- [起動可能ディスクの作成について](#)
- [システムが起動可能ディスクをサポートしていることを確認する](#)
- [起動フロッピー ディスクを見つける、または作成する](#)
- [フロッピー ディスク エミュレーションを使用するためのヒント](#)
- [Creator Classic プロジェクトの基本](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

フロッピー ディスク エミュレーションを使用するためのヒント

起動可能ディスクからシステムを起動するとき、この起動可能ディスクは起動可能フロッピー ディスクをエミュレートします。したがって、このディスクを挿入したドライブが「ドライブ A」となり、実際のフロッピー ディスクドライブが「ドライブ B」となります。

ディスク内の起動イメージ以外の場所に、その他の情報をコピーできます。次のような情報をディスクに含めることができます。

- ハード ディスク ユーティリティ
- アプリケーションのインストーラー
- バックアップ ユーティリティ

起動イメージ以外のファイルにアクセスする場合は、起動イメージに以下のファイルが含まれていることを確認してください。

- mscdex.exe
- cdrom.sys
- CD または DVD ドライブのデバイスドライバー

これらのファイルが起動イメージに含まれていないと、起動可能ディスクにはアクセスできません。通常、お使いの CD または DVD ドライブのデバイスドライバーは、ドライブに付属のソフトウェア ディスクに入っています。

以下も参照してください：

- [起動可能ディスクの作成について](#)
- [システムが起動可能ディスクをサポートしていることを確認する](#)
- [起動フロッピー ディスクを見つける、または作成する](#)
- [Creator Classic を使って起動可能ディスクを作成する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

Creator Classic

その他の機能について

その他の機能については、以下のトピックを参照してください。

- [ディスク イメージ ファイルを作成する、書き込む](#)
- [プロジェクトからファイルを除外する](#)
- [プロジェクトを検証する](#)
- [プロジェクト設定を表示する](#)
- [Creator Classic のオプションを表示する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

ディスク イメージ ファイルを作成する、書き込む

ディスク イメージ ファイルとは、実際のディスクに書き込まれる代わりに、書き込むディスクの内容をそのままの状態ハード ディスクに記録したものです。Creator Classic では、どの種類のプロジェクトに対するイメージ ファイルでも作成できます。

注意: ディスク イメージ ファイルを作成する場合は、ハードディスクにイメージ ファイルを格納できるだけの空き領域があることを確認してください。

ディスク イメージ ファイルを作成するには:

- 1 通常どおりに、プロジェクトを作成します。
- 2 プロジェクトに書き込むすべてのファイルを追加して整理します。これで、ディスク イメージ ファイルの作成準備が整いました。

注意: 複数のディスクに分割して書き込むマルチディスク データ プロジェクトのディスク イメージ ファイルは作成できません。

- 3 **書き込み**をクリックします。

書き込みセットアップ ダイアログ ボックスが開き、プロジェクトの要約と書き込み先(レコーダーまたはハード ディスク上のフォルダー)が表示されます。

- 4 **ディスク イメージ ファイルを保存する** をクリックし、[参照] をクリックして、イメージ ファイルの名前と場所を指定します。
- 5 ターゲット領域で、**ディスク イメージ ファイル**を選択します。
- 6 CD または DVD にファイルを保存したい場合は、ダイアログ ボックスのディスクドライブの隣にあるチェックボックスを外してください。
- 7 **OK** をクリックします。ハード ディスクへのディスク イメージ ファイルの書き込みが開始されます。

ディスク イメージ ファイルをディスクに書き込むには:

- 1 その他のタスク領域で、**ディスク イメージ ファイルから書き込む**をクリックします。
ディスク イメージ ファイルから書き込むダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 ディスクに書き込むイメージ ファイルを選択し、**開く**をクリックします。
書き込みセットアップ ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 レコーダーにブランクのディスクを挿入します。
- 4 ダイアログ ボックスのレコーダーの名前の隣にあるチェックボックスが選択されていることを確認してください。
- 5 **OK** をクリックします。

注意: ディスクの書き込み中に、Express Labeler を起動し、独自のディスク ラベルやディスク ケースのジャケットを作成することもできます。Express Labeler を起動するには、**ラベルを作成** をクリックします。

以下も参照してください:

- [プロジェクトを検証する](#)

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

プロジェクトからファイルを除外する

データ プロジェクトや起動可能ディスク プロジェクトから除外するファイルの種類を指定できます。

プロジェクトからファイルを除外するには：

- 1 **プロジェクト設定**をクリックします。(または、**ファイル** > **プロジェクト設定**を選択します。)
プロジェクト設定ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 **除外するファイルの種類**をクリックします。
- 3 このダイアログ ボックスで、オプションを選択します。
各オプションの詳細については、ダイアログ ボックス内の**ヘルプ**をクリックしてください。

[ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。



プロジェクトを検証する

プロジェクトをディスクに書き込む前に、プロジェクトに追加したファイルのソースが移動、削除、名前変更、修正されていないことを検証できます。項目が見つからない場合は、ディスクに書き込む前に、その項目をプロジェクトから削除するよう指示するメッセージが表示されます。

CD プロジェクトを検証するには:

- 1 **プロジェクト設定**をクリックします。または、**ファイル > プロジェクト設定**を選択し、**全般**をクリックします。

プロジェクト設定 ダイアログ ボックスの全般ページが表示されます。

- **書き込む前にソース ファイルを検証する**チェックボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

 [ページのトップへ](#)

メモ:お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Creator Classic

プロジェクト設定を表示する

プロジェクト設定ダイアログ ボックスには、全般、詳細、除外するファイルの種類のプロパティが表示されます。

プロジェクト プロパティを表示するには:

- **プロジェクト設定**をクリックします。(または、**ファイル > プロジェクト設定**を選択します。)

以下も参照してください:

- [Creator Classic のオプションを表示する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.

Creator Classic のオプションを表示する

Creator Classic オプション ダイアログ ボックスは、一時ファイルの保存先を設定したり、エラーのログ化を有効設定したり、特定の種類のプログラム警告メッセージをコントロールする場合に使用します。

オプションを表示するには:

- ツール > オプション を選択します。

以下も参照してください:

- [プロジェクト設定を表示する](#)

 [ページのトップへ](#)

メモ: お使いのソフトウェアのバージョンによって、上で説明している機能の一部を使用できない場合もあります。オンライン ヘルプで説明しているすべての機能を十分に活用できるようにアップグレードする方法については、www.roxio.com をご覧ください。

ROXIO

© Rovi Corporation or its subsidiaries. All rights reserved.